WASEDA University

Smart SE

スマートエスイー 修了制作

介護業務の課題と業務支援に向けたアプローチ検討

名前：鴨田将来

開発における問題点

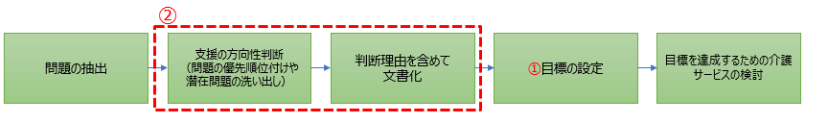
介護業務の需要とは裏腹に多くの業務でITによる効率化ができていない。IT企業の多くは介護業界の抱える業務内容を把握できておらず適切なアプローチができていない

手法・ツールの適用による解決

介護業界の中でも、ケアマネージャーさんの業務効率UPに必要な項目を可視化し、システムとしてどのようにアプローチすればよいのか検討＆プロトタイプの作成、ビジネスモデル仮説検証を実施

課題抽出

3人のケアマネージャーさんへのインタビューを合計7回行い、業務内容の聞き取りや**業務上の課題をなぜなぜ分析し、大きく2つの問題を抽出。**
どちらも書類作成の問題だったため、過去作成した類似書類のリマインド補助を行うことによって1から**書類作成する労力を軽減するアプローチを提案**



① 目標の設定
- どのような目標を立てるべきかヒアリングシートの文書を要約するのが大変
- 行政の監査に耐えうる判断理由を検討するのが大変
- 目標の抜け漏れがないかの確認が大変

② 判断理由を含めて文書化
- シチュエーションにマッチした文書を考えるのが大変
- 問題の組み合わせを見て、優先度をつける作業に医療や介護知識が必要
- 行政の監査に耐えうる判断理由を検討するのが大変

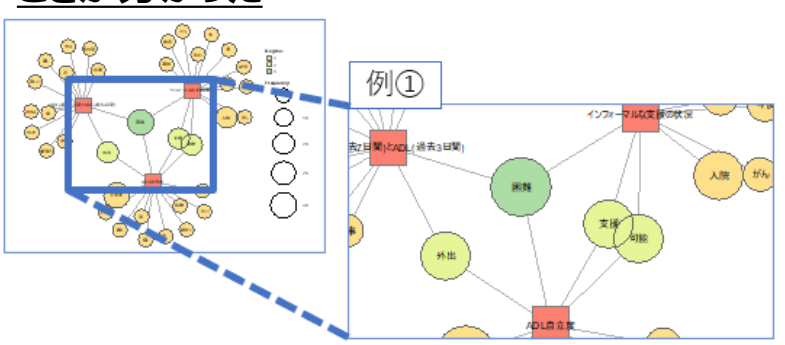
目標設定記載例（短絡的にまとめたもの）
実際にはもっと細かく記載

長期目標	短期目標
○○まで行けるようになる。	○○mの連続歩行ができる。
	××（近い場所）まで行けるようになる。
	下肢筋力をつける。
	転倒しない生活を送る。
介助を受けずに歩行できるようになる。	介助を受けて歩行できる。
	転倒しない生活を送る。

各課題に対して改善案(仮説)を検討

プロトタイプ作成

ケアマネージャーさんからいただいたサンプルの被介護者ヒアリングメモを形態素解析ツールで分析し、係数が高い単語を分類することにより**類似記録の検索がおおよそ可能であることが分かった**



総括と今後の展望

<総括>
- 業務内容と問題点をヒアリングすることができ、問題を解決できそうなソリューションの提案、プロトタイプの開発を実施できた
- 事業化計画で対策や検討が必要な項目が多数上がっており、追加検証が必要
- PoCの実践が未達なので実施する必要がある

<今後の予定>
- PoCの実施、実作業で利用しているヒアリングメモを用いた実践
- プロジェクトFMEAの課題消化